



2019年3月期 第1四半期 決算説明会

2018年8月13日

堀田丸正株式会社

代表取締役社長 大西 雅美

(東京証券取引所第2部 証券コード8105)

- 会社名： 堀田丸正株式会社
- 創業： 1861年(文久元年、創業156年)
- 上場市場： 東京証券取引所 第2部(1974年)
- 事業内容： 和装品、宝飾品、和装小物・寝装品等の卸売販売、
婦人用品・意匠燃糸等の製造・卸売販売、
横ニットの企画・製造・販売
- 従業員数： 連結 130名 (2018年3月末日時点)

おかげさまで155年

堀田丸正 株式会社



※意匠燃糸(いしょうねんし)とは:

- ・糸の表面に色や形状の加工をし、特徴のある表情や風合い、装飾効果を持たせた糸素材
- ・燃糸(ねんし)技術は、アパレル等の繊維製品の質感、肌触り、デザイン、耐久性などの品質・付加価値を左右する重要な要素技術

事業体

事業概要

洋装事業

洋装全般にわたり、自社商品
及びNB商品の仕入・卸売事業

- ①アパレル事業部(東京)
- ②丸福事業部(福岡)
- ③馬里邑事業部(東京)



意匠撚糸事業

意匠撚糸の仕入・卸売事業
横ニットに特化したOEM事業

- ④ファンシーヤーン事業部(東京)
- ⑤堀田上海有限公司(上海)
- ⑥イエリデザイン事業部(東京)



事業体

事業概要

和装事業

呉服・宝飾・雑貨・和装小物
の仕入・卸売事業

- ⑦和装東日本事業部(東京)
- ⑧和装西日本事業部(京都)
- ⑨株式会社吉利(東京)



寝装事業

寝装品の仕入・卸販売
葬祭関連ギフトの仕入・卸販売

- ⑩ソフラン事業部(神奈川)
- ⑪ギフト事業部(岩手)



①コア事業の意匠撚糸事業は増収増益

- ・堀田上海(中国)が10%の増収増益
- ・国内事業も大手アパレル受注増で増益
- ・前期実施の構造改革効果で収益性改善

②苦戦していた和装事業が期間黒字を達成

- ・和装東日本・西日本共に黒字化
- ・子会社(株)吉利が構造改革効果で大幅黒字化
- ・売上減少傾向に歯止めをかけることが今後の課題

③好調事業への資源集中及び事業領域の拡大方針

- ・伸びている意匠撚糸事業への経営資源集中
- ・問屋事業からの脱却で低い粗利水準を改善

決算概要

連結損益計算書(第1Q)

- 主力の意匠燃糸事業が営業利益を牽引。特に堀田上海が好調推移
- 前期は赤字であった和装事業が、構造改革効果が表れて黒字転換
- 前期末時点での在庫過多を背景に新規仕入れを大幅に抑制した洋装事業は赤字転落
- 経常利益から当期純利益に至るまで期間利益で良化

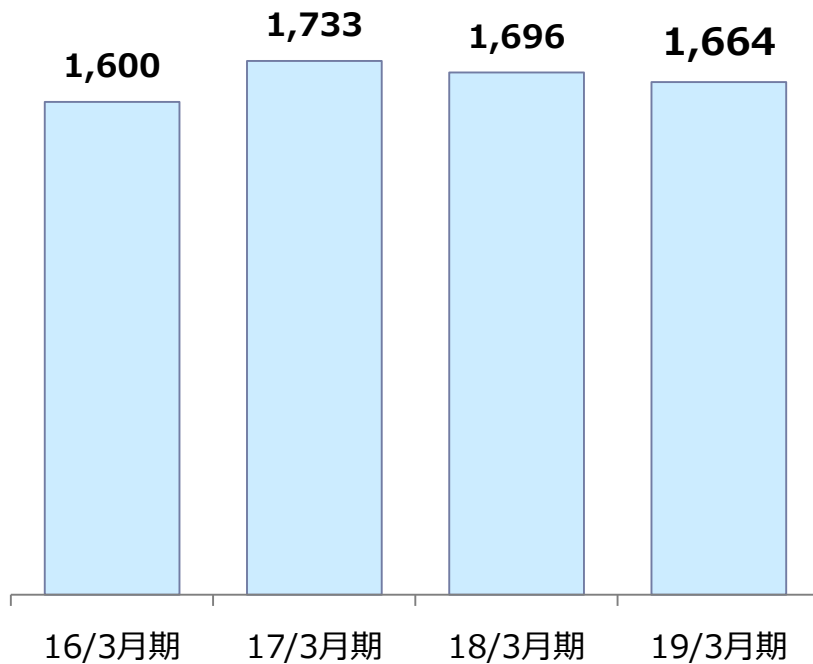
(単位:百万円)

	2018年3月期 第1Q	2019年3月期 第1Q	増減額	増減率
売上高	1,696	1,664	▲32	98.1%
売上総利益	549	490	▲59	89.3%
販管費	558	517	▲41	92.7%
営業利益	▲8	▲27	▲19	—
経常利益	▲20	▲15	+5	—
当期純利益	▲26	▲22	+4	—

売上は過去3期水準を維持も、洋装事業の悪化で営業赤字計上

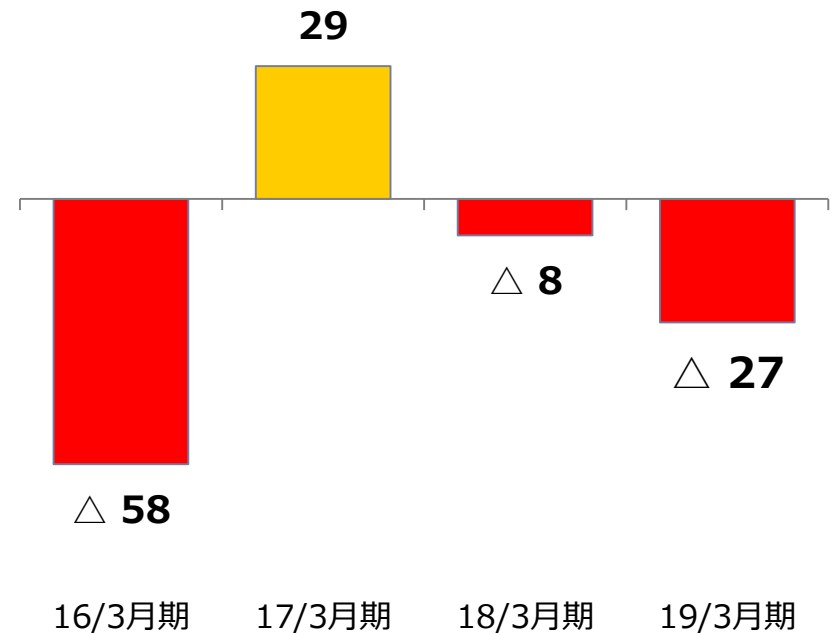
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



- 意匠撚糸事業は、堀田上海が10%の増収増益となり、全体を牽引
- 和装事業は構造改革効果、子会社吉利の業務改革により黒字転換

(百万円：%)

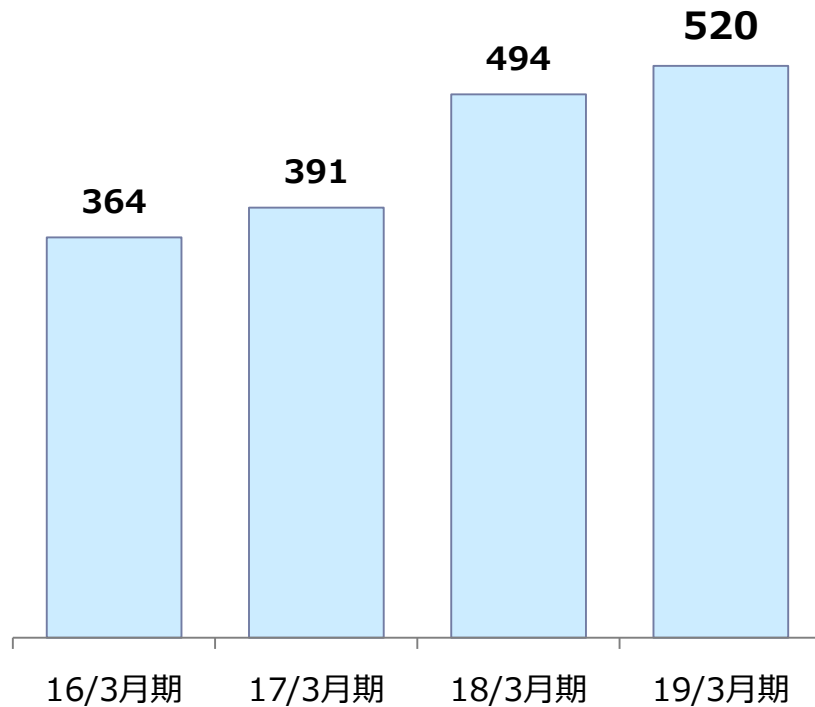
	売上高				セグメント利益			
	2018/3期 第1Q	2019/3期 第1Q	増減額	前年 同期比	2018/3期 第1Q	2019/3期 第1Q	増減額	前年 同期比
連結	1,696	1,664	▲32	98.1	▲8	▲27	▲19	—
洋装事業	591	632	+41	106.8	32	▲27	▲59	—
意匠撚糸 事業	494	520	+26	105.3	28	32	+4	114.3
和装事業	467	376	▲91	80.5	▲20	6	+26	—
寝装事業	142	134	▲8	94.6	6	5	▲1	83.3
本社・調整	—	—	—	—	▲55	▲42	+13	—

※連結売上高、経常利益、当期利益は連結相殺を含んでおります。

コア事業である意匠撚糸は中国事業が牽引し、増収増益達成

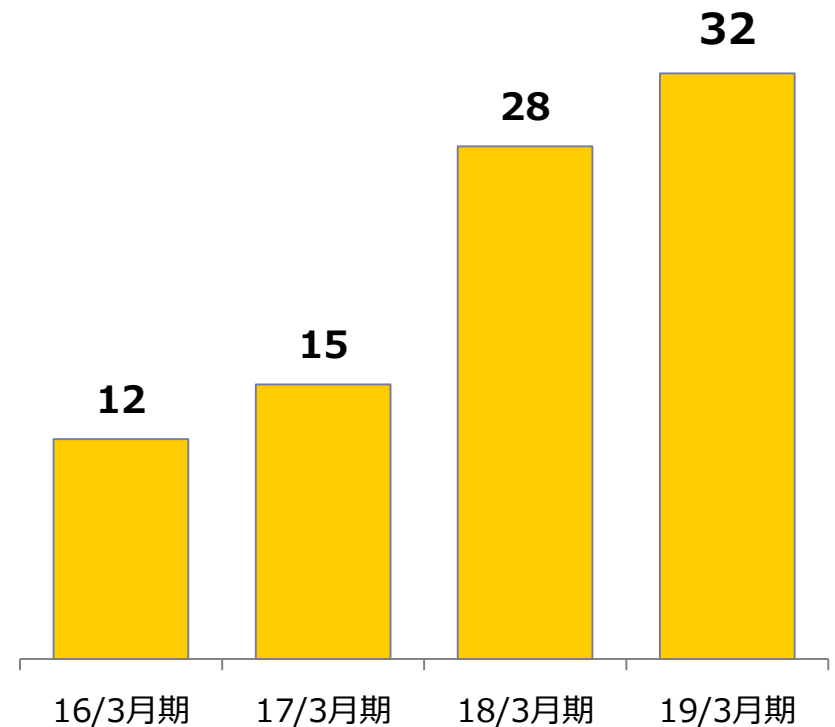
売上高

(単位：百万円)



営業利益

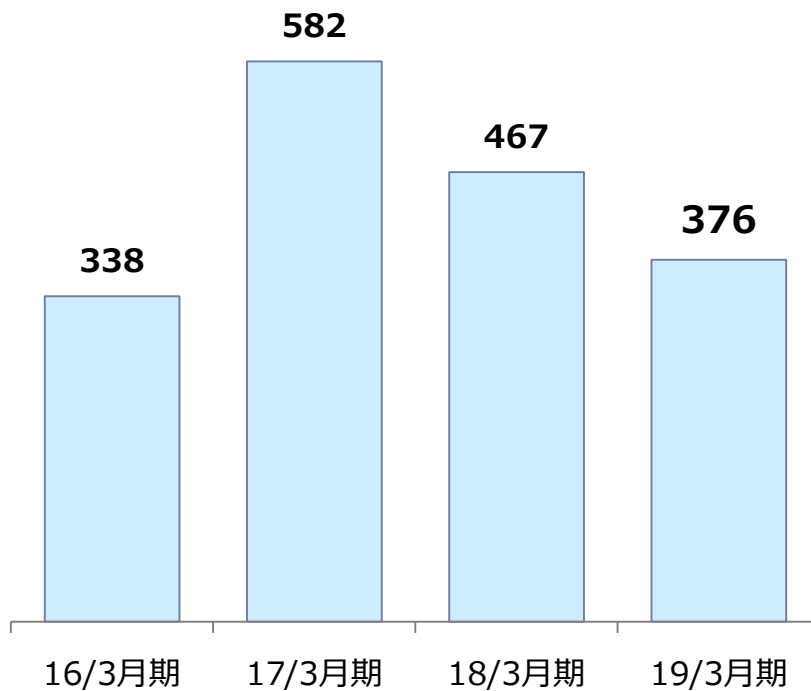
(単位：百万円)



売上は3期連続減少傾向も、構造改革効果で黒字転換

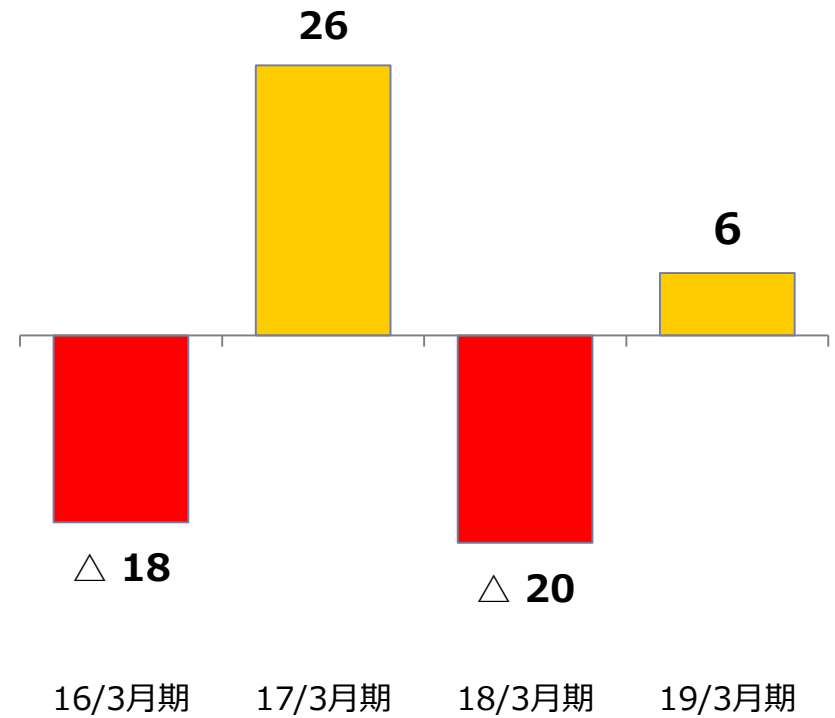
売上高

(単位：百万円)



営業利益

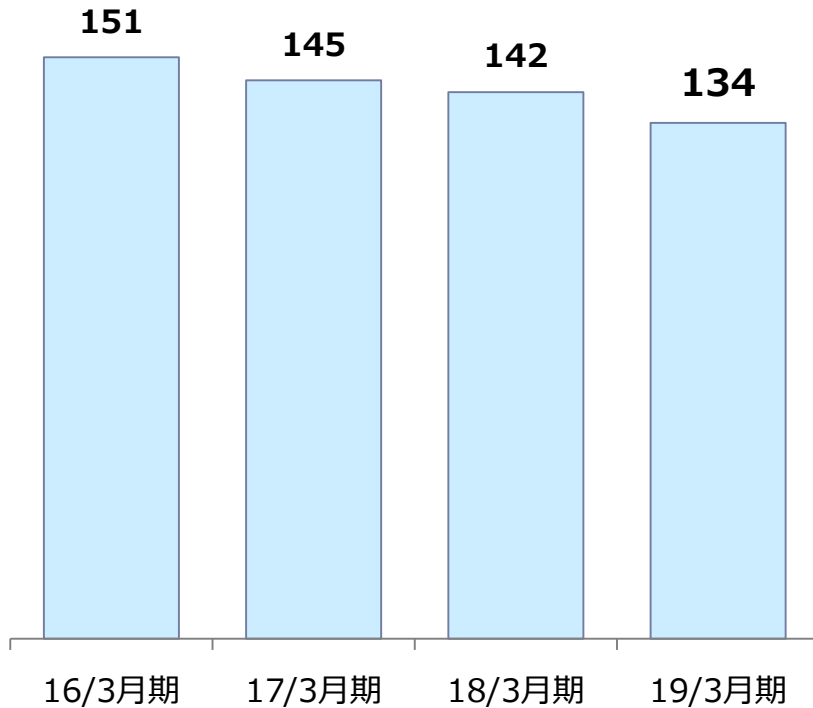
(単位：百万円)



売上、営業利益とも過去3期水準を維持。ギフト事業が牽引。

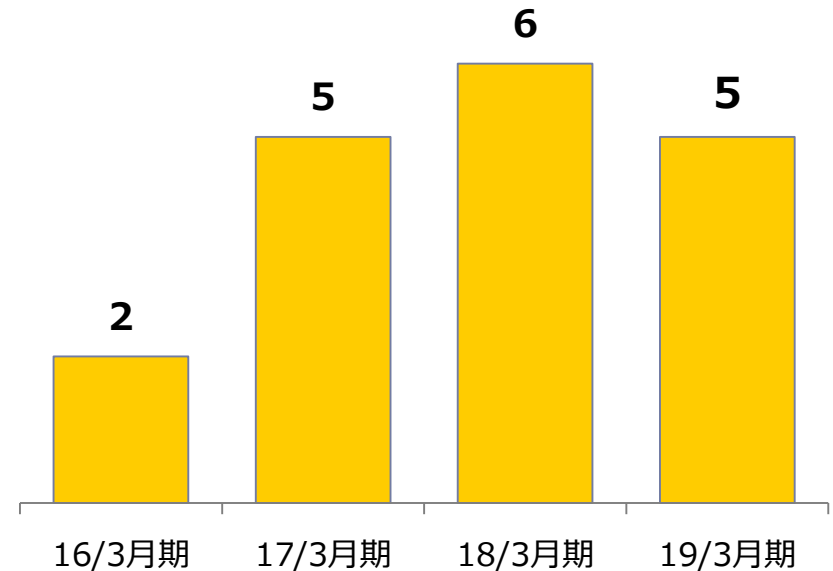
売上高

(単位：百万円)



営業利益

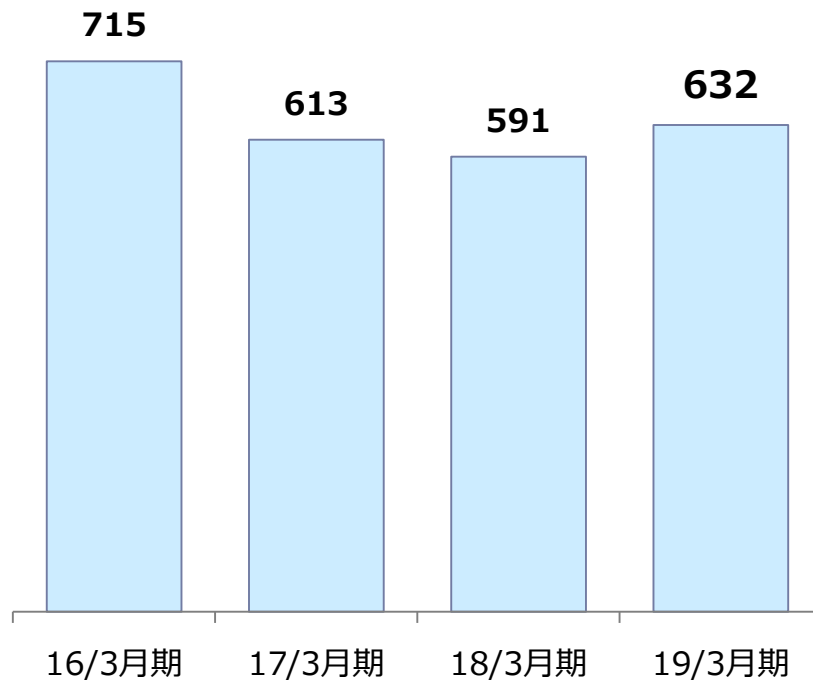
(単位：百万円)



増収も、前期末での在庫過多背景に、馬里邑事業部での夏物仕入の中止により、旧在庫のみでの展開のため粗利悪化

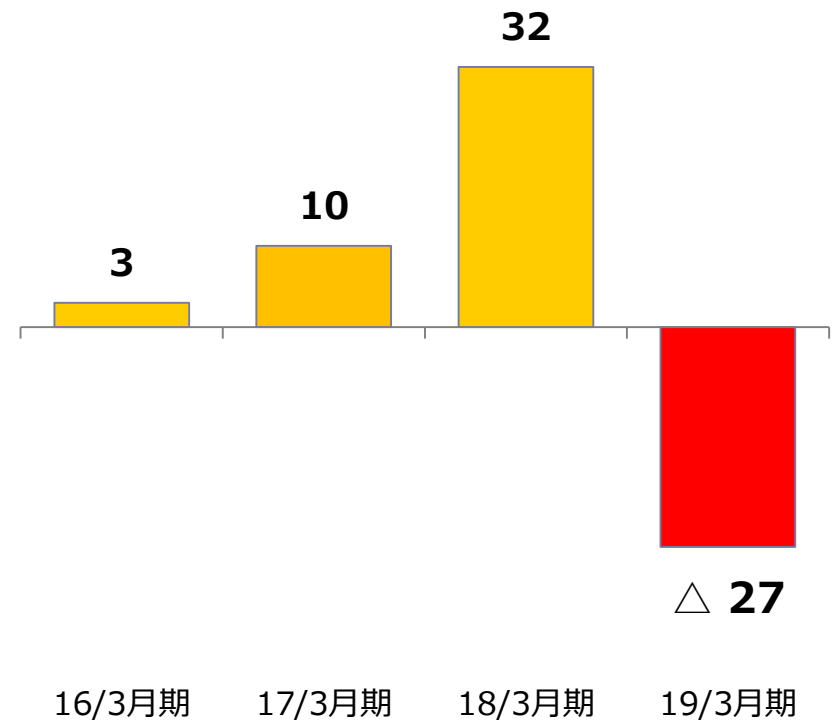
売上高

(単位：百万円)



営業利益

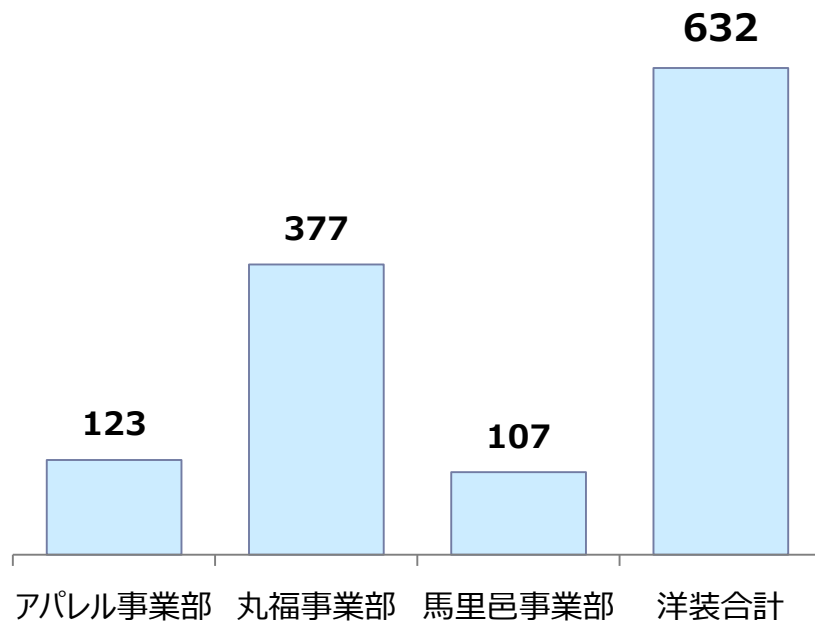
(単位：百万円)



アパレル事業部、丸福事業部は顕著推移も、馬里邑事業部の在庫圧縮施策による売上▲55百万、粗利▲33百万が影響
 *合計には事業外実績含む

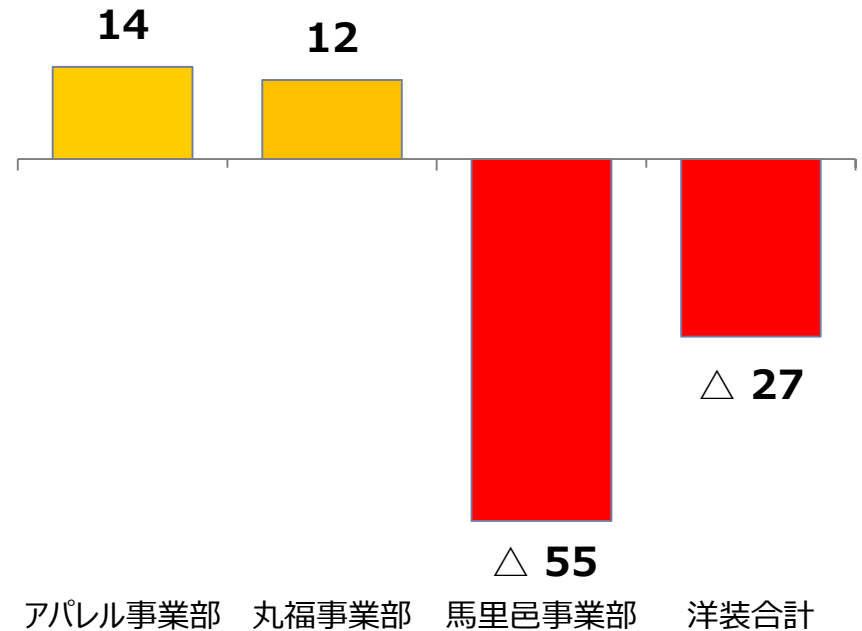
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



連結貸借対照表

- 自己資本率は前期末74.6%から77.7%に更に良化
- 流動比率は前期末371%から423%に良化

(百万円)

資産の部	2018/3 期末	2018/6末	増減額	負債・ 純資産の部	2018/3 期末	2018/6末	増減額
流動資産	5,829	5,523	△306	流動負債	1,571	1,305	△266
固定資産	531	521	△10	固定負債	38	36	△2
資産合計	6,360	6,045	△315	純資産	4,750	4,702	△48
				負債・純 資産合計	6,360	6,045	△315

今後の経営方針

今後の経営方針

①コアである意匠燃糸事業への経営資源集中投下

- ・中国法人への資金サポートで直販比率拡大
- ・人員体制強化のため、グループ人事交流活用
- ・海外事業の更なる拡大のため欧米展示会参加

②第2の柱である洋装事業の再構築

- ・好調なアパレル事業部のアカウント拡大
- ・収益改善が弱い丸福事業部の再構築
- ・馬里邑事業部のコスト構造の抜本的な見直し

③低い粗利構造からの脱却のため、事業領域を拡大

- ・独自商品を持つメーカーをターゲットにM&A推進
- ・領域拡大を前提に、事業ポートフォリオを再編

今期の業績見通し(年間)

減収見通しも、昨年来の構造改革による効率化で大幅増益 (単位:百万円)

	2018年3月期 年間	2019年3月期 年間	増減額	増減率
売上高	7,703	7,346	▲357	95.4%
売上総利益	2,431	2,264	▲167	93.1%
販管費	2,362	2,164	▲198	91.6%
営業利益	68	100	+32	147.1%
経常利益	56	103	+47	183.9%
当期純利益	100	70	▲30	70.0%

●期中における新規取り組みへのチャレンジで増収をはかる。

意匠燃糸事業への経営資源の集中投下により、アカウント開発、受注拡大
事業領域拡大のための、M&A推進で新たな売上、利益の源泉を創出

免責事項

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがありますので予めご了承ください。